

くらしの窓すぎなみ

編集・発行：杉並区立消費者センター
杉並区天沼 3-19-16 ウェルファーム杉並 3 階
tel.03-3398-3141

臨時 2024.11 No.240
令和6年11月発行



物流 2024 年問題

荷物が届かない！

買える商品が少ない！

そうならないために・・・

私たち消費者にできることを考えよう

物流 2024 年問題とは？

働き方改革関連法によって、2024 年 4 月からトラックドライバーの残業時間が、罰則つきで年間 960 時間に制限され、これに伴いこれまで運んでいたはずの荷物が運べなくなると言われている問題です。

持続可能な物流・社会のために

物流 2024 年問題は、ドライバーの方の問題でなく、私たちの生活に直接影響を与えます。

【物流】は大きく分けて 2 つの流れがあります。

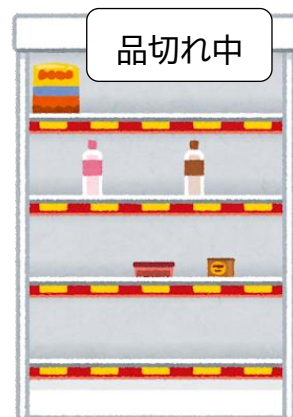
① 企業の工場や倉庫などの間を結ぶ^{かんせん}幹線輸送>

② 私たちの自宅やオフィスなどに荷物を届ける

<ラスト・マイル>という配送

どちらも重要で、このまま対策を立てないと、2030 年には荷物の約 34% が運べなくなるという、試算がされています。スーパーの棚には商品が品切れになり、宅急便も届かないということが現実にかかる可能性があります。

国では法整備、物流業界では効率化のためのさまざまな取り組みが始まっています。私たち消費者も 2024 年問題を自分事として考え、できることは何か？を考え実行しましょう！



意識と行動を変えよう！

① 宅配便で再配達を減らす！

現在12%にもものぼっている【再配達比率】。これを下げるために心がけること。

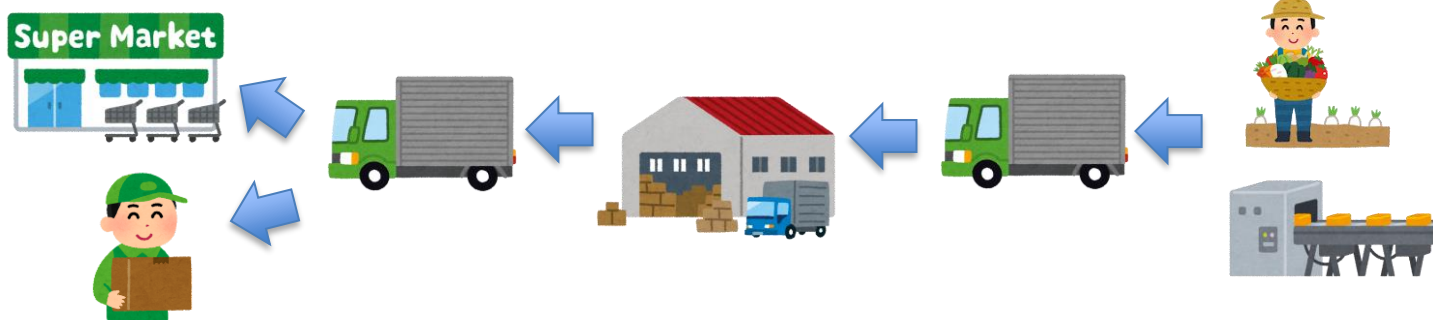
- ・確実に受け取れる日を指定し、その時間は在宅する。
- ・コンビニ受け取り、宅配ボックスや置き配を利用。
- ・複数商品はまとめて注文・配達依頼。
- ・予定が変わったときは必ず連絡。



② 物流の負荷を考慮して、買い物の方法を変える！

- ・いつもの商品がスーパーの棚などになかったら、他のメーカーの商品を試してみる。
- ・食品買う時には、棚の手前・賞味期限の近いものから。
- ・地産地消を心がける。
- ・災害に備えて自宅で在庫をもつ。

③ サプライチェーン(商品が生産され消費者の手元に届くまでの一連の流れ)全体に想像力を働かせて、かなりの手間と費用・時間がかかっていることなどを認識する。



消費者の行動変容に対する施策（ポイント還元事業）

再配達の半減＜12%→6%＞に向けて

令和6年10月から国は宅配荷物の再配達削減のために、ユーザーが「置き配」やコンビニ受け取り、ゆとりある配送日の指定などを選択した場合、1回あたり最大5円分のポイントを支援します。事業者によって取り組みが違うので、調べてポイント還元を目指しましょう。

<出典・参考> 東京くらしねっと、国民生活、内閣官房「物流革新に向けた政策パッケージ」の進捗状況と今後の対応



杉並区立 消費者センター

相談専用 03-3398-3121

相談受付時間 午前9時～午後4時（土曜・日曜・祝日・12/29～1/3は休み）